



三重県電気工業組合
三重県電気工事協力会
発行人 繁田 勲
編集責任 広報委員会

中部電力株式会社
常務取締役津支店長

顧問 和田 愿



新年あけまして、おめで
とうございます。

皆さまともども元気に新
春を迎えることができまし
たことを、心からお慶び申
しあげます。

旧年中は、格別のご支援
ご協力を賜わり厚くお礼申
しあげます。

願ひみますと、昨年は、
三重県電気工事協力会創立
三十五周年ならびに三重県
電気工業組合創立十五周
年を迎え、記念行事を行
うなど、歴史的な年であ

りました。そして、この記
念行事としての障害者福祉
寄附金の寄贈さらには、業
界発展のための後継者育成
を目的とした青年部の設置
等、社会的責任を深く認識
された運営は、地域社会の
発展に貢献する協力会設立
の精神が脈々とみなぎり深
く敬意を表しております。

また、第十七回引込みお
よび内線工事技能オリンピ
ック大会で、四日市チーム
が総合三位に入賞されたこ
とも記憶に新しいところで
あります。

さて、昨年のわが国経済
は、個人消費の伸び悩み、
住宅建設の回復が遅れてい
ることにより内需の不振が
引続き全体として低調さみ
に推移する一方、輸出が堅

調に推移したため、国際収
支は、黒字が増大し、スタ
グレーションの真直中で

が一層激化した年でありま
した。このような中で、「景
気の浮揚」「財政の再建」
「通商摩擦」という三つの

難問を解消するため、去る
十二月十一日から公定歩合

の〇・七五%の引き下げが
実施されました。ムードと
しては、明るさはあるもの

の先行きは、楽観を許され
ない状況にあります。

とくに、民間住宅建設の
回復が遅れている中にあっ
て、皆さま方電気工業業界

は、組織の結果と経営の近
代化をはかり、この難局を
克服され発展されることを
願ってやみません。

当社におきましても昨年
は、創立三十周年という記
念すべき年を迎えることが
できました。この間、地域

社会の発展と生活文化の向
上とともに、電力消費は、
年々増大し、これにこたえ
るため、全社をあげて発電
所づくりを進め電力の安定
供給を果すことができまし
た。これひとえに皆さま方
のご支援、ご協力の賜物と

厚くお礼を申しあげる次第
であります。

しかしながら、当社を取
り巻く経営環境は、エネル
ギーの国際的制約、原子力

立地の難航、資本費の増嵩
などにより一層厳しさを増
してきている現状にありま
す。

昨年も、初頭のあいさつ
で申し述べましたが、エネ
ルギー問題が、ますます深

刻かつ複雑な状況下にある
現在、とりわけ石油火力へ
の依存度が高い当社にとっ

て、とくに脱石油を目指し
た原子力開発が一層重要か
つ緊急な課題であります。

電源開発については、昨
年五月・六月の渥美火力三
・四号機の運開、三月の知
多第二火力一・二号機の着

工、そして、十一月の浜岡
原子力三号機の安全審査通
過など前進をみることで
きました。

当支店管内におきまして
も、昨年十月からの川越火
力一・二号機、四日市火力
四号系列などL・N・G・
火力の新増設についての環
境アセスメントに関する諸
手続きも順調に進みつつあ
りまして、尾鷲三田火力三

・四号機増設と合せて、本
年度中には、建設着工の足
がかりを築かなければなり
ません。

しかし、何と言っても、
脱石油の最重要は、原子力
発電であります。本年は、
長年の懸案であります芦浜
原子力立地につきまして、

地元の方々の合意を頂くべ
く、私をはじめ、当支店従
業員一同一丸となって努力

していく所存でございます
ので、どうか皆さま方に、
おかれましては、今まで以
上にご支援、ご協力を賜わ
りますようお願い申しあげ
ます。

最後になりましたが、ご
家族ともども健康に十分留
意されますとともに、三重
県電気工事協力会のますま
すのご発展と皆さま方の一
繁栄を祈念いたしまして、
新年のごあいさつといたし
ます。





新年のごあいさつ

三重県電気工事協定会会長
三重県電気工業組合理事長

繁田 劭

新年明けまして、お目出
とうございます。

82年の希望に満ちた新年
を会員のみなさま始め、従
業員、ご家族お揃いで元氣
に迎えられることとお慶び
申しあげます。

昨年の経済環境は、こと
のほか厳しく、対外的には
貿易摩擦が拡大し景気回復
も遅れがちな推移に加えて
国内的には行財政改革問題
など、かつてない重大にし
て困難な問題が山積してい
ます。

なかでも、中小企業にと
っては個人消費の停滞によ
る経済拡大テンポの鈍化、
公共投資抑制策などにより
経済成長率も四%前後とな
っており、とりわけわれ
われの業界についても住宅
投資の減少による不振など
不安材料が多く建設業全般
に急速な悪化状態のまま1
年を越した状況でした。

このような状況での57年
度についても急速な好転は
望み少なく誠に厳しい年と

なろうと考えます。

この厳しい新年を迎える
に当り私どもは企業の体質
をさらに強化していくとと
もに、個々の活力を活かし
ながら、バランスのとれた
経営基盤づくりに懸命の努
力を重ねていかねばなりま
せん。

昨年は協代会55周年、工
業組合15周年の創立記念の
年として、われわれ業界の
輝かしい歴史を築きあげて
まいりましたが、この永年
のうちには幾多の困難を乗
り越え、会員一同一致団結
して今日に至った実績があ
ります。この実力を今年こ
そ大いに發揮して不安材料
の多い厳しい経済情勢に対
処して参りたいと思いま
す。

幸い創立記念事業の一環
として昨年末われわれの組
合にも青年部会が発足いた
しました。

これからの業界を背負っ
て立つ若い青年経営者は、
大いに勉強して新らしい時

代に対応する柔軟な考え方
で、企業体質の改善、企業
経営の確立に励み業界の発
展に取組もうと、いろいろ
な事業を自主的に推進され
ることと思います。

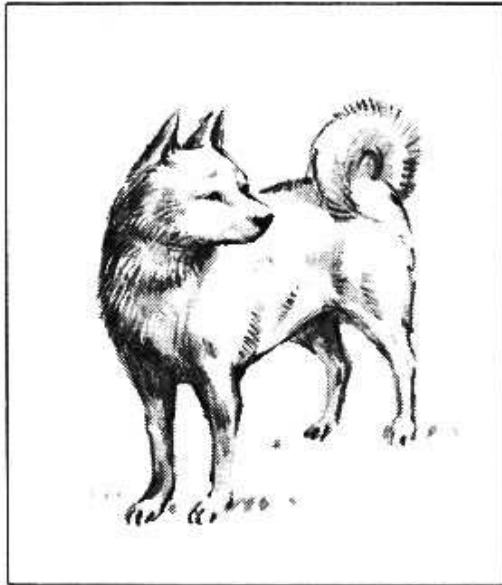
組合員、青年部会員はわ
れわれ電気工業界の発展
への両輪となるよう今後の
運営に充分対応して行きた
いと考えます。

なお組合の各委員会にお

いてもこの情勢を反映して
時代に即応した各種事業を
展開して参りましたが、本
年度はさらにきめの細かい
事業について組合員、青年
部会員ともども参加しての
効果ある内容に努力いたし
たいと思います。

どうか皆さんこの厳しい
経済情勢の現実を見つめて
積極的、建設的なご意見を
活発にご提議いただくこと
もに、組合活動の盛り上げ
に、一段のご協力、参加を
お願い申しあげます。

最後になりましたが、本
年も無事故、無災害で、明
るい職場づくりのため、全
員の御健勝をお祈り申しあ
げ新年のごあいさつといた
します。



私の健康法について

副理事長
四日市支部長

伊東 直作



一日中の無事を祈るので
す。

朝食は七時頃で会社には
七時四十分頃に出社しま
す。各種団体の役職を持っ
ている関係で夫等の整理か
ら一日の行事が始まるので
す。昼食は出来るだけ取ら
ない様に努めて居り、夕食
は六時頃になります。余程
の病氣以外はお酒を抜かし
たことはありません。極力
野菜や魚等の料理を主食に
してご飯は食べない様にし
て居ります。私の酒好きは
皆さんが御承知して居りま
すが、煙草だけは吸いませ
ん。酒の適量は百葉の長と
もいわれますが、煙草は百
害あって一利なしといわれ
ますので私はその様に実行
して居ります。人生は健康
でなければ何事も出来ない
ものです。

私共子供の頃は人生五十
年と聞かされて居りましたが、
現在は日本の平均年齢
は七十五歳という世界でも
上位となりました。

私は毎晩主としてお酒を
二合五勺程飲みながら食事を
とって居ります。

食後は暫く休んでからテ
レビ等を見て入浴します。

夜は九時頃に床に入り朝は
五時前後に、寢床で朝刊を
読んで六時半前には起床し
て神仏のお水等を取交えて

新春に当って私の健康法
が皆さんに多少でもお役に
たちましたらこの上ない喜
びであります。

会員皆さんの御健康とこ
繁栄を祈念致します。



「新年に想う」

副理事長
松阪支部長

角谷 利夫

新年 明けましておめでとう
とございます。

「明ける」……なんと素

暗らしい言葉ではありませ
んか、平素は余り意にか
けない言葉ですが、誰しも
すぐ思いつく言葉に「夜が
明ける」があります。殊に
冬の寒い夜長を待ち侘びて
白々とした東雲、やがてそ

の彼方から今日一日の新た
しい太陽が昇り初める僅か
に静かな瞬間は、時の始ま
りにつれてなんとも表現の
できない、清々しさ、厳肅
さ、そうしてなんとなく何
か幸せなことが東の方から
運ばれてくるかのような期
待をもちます、一日の明け
方がこのような感動です
から、こうして新たな三百六
十五日の「明け」を迎える
ことは言うまでもなく、そ
の三百六十五倍の未知の明
けですから、「明けまして、
おめでとうございます」と
年頭の祝詞になったのでは
なからうか？と勝手な解釈

をして、皆さんに心から新
年のご挨拶を申しあげま
す。

さてこの明けましておめ
でとも、二日、三日と松
の内の行事も一段落つくと
やがては閑散とした静寂な
時間が多くなり、果ては近
き去った昨年の出来事の数
々が回顧されます。

そうして、その回想の中
から様々な想いが心の中を
駆け巡り生きている自分自
身を見つめることのできる
のも正月ならではの贈り物
ではないでしょうか。

こうした静かな空間の中
から、ふと現実の中へ引き
込まれますと、これまた次
から次へと新たな不安と
希望が湧き出します。

「不安と希望」、前者を
打ち消し、後者を叶えよう
とするには、生み育てるし
かありません、例え、それ
が夢のような希いでも「生
む」、この最初の一瞬がな
ければ夢も希望も実現しま

せん。

新しい「生命」を創る

ことはそれはとても大変な
ことです。でも、どんな生
命も種を蒔かなければ芽は
生えません……当然です。
木々、草花などは春から夏
に芽を萌やし花をつけ、や
がて秋から冬にかけて花は
散り、実り、更に葉を落し
て枯れて逝くものと思っ
ておりましたが、木枯が吹き
始めて葉の一枚一枚が地に
落ち去った梢の先端には既
に次代を継ぐ新芽を残して

せん。
新しい「生命」を創る
ことはそれはとても大変な
ことです。でも、どんな生
命も種を蒔かなければ芽は
生えません……当然です。
木々、草花などは春から夏
に芽を萌やし花をつけ、や
がて秋から冬にかけて花は
散り、実り、更に葉を落し
て枯れて逝くものと思っ
ておりましたが、木枯が吹き
始めて葉の一枚一枚が地に
落ち去った梢の先端には既
に次代を継ぐ新芽を残して

です。

私の庭先に芍薬の木があ
ります。親木は既に枯れ果
て、おりますが何時の日か
らか根元に小さな可愛い
淡紅色の芽が出ておりまし
た。

師走に入ってから霜の降
りる日もあり、次第に霜柱
の立つ日が訪れましょう、
でもこの小さな芽は一言の
弱音も吐かず恰も自分に課
せられた使命を厳然と自覚
した顔をして、いじらしく

健気に冬と戦っておりま

す。この自然の成り立ちの
厳しくも潤くましい姿は心
なくしてはおられません。
でも日によっては春を偲ば
せる燦々とした陽差しを、
小さな体一杯に受けて幽に
微笑む顔を見ると、厳しい
自然の試練の中に和やかさ
を識り心が救われる思いが
します。

近年われわれを取りまく
不況の諸条件は、夫々に晩
秋から厳寒の季節を想似さ
か。

謹賀新年

(社)東海電友共済会理事長

池戸 正己

新年明けまして御目出度
うございます。

先般発行されました当共
済会創立二十周年の記念式
典には労働省より倉橋審議
官を迎えて盛大に開催する
ことができ、ご同慶の至り
に存じます。

懸案の本部事務所の建設
も緒に就き、災害共済規約
の福祉拡大も行革国会のた
め大幅に遅延しております
が、近日中には御許可が
いただけるものと確信して

おります。
なお六月には決算総会に
併せて新事務所の披露と役
職員研修会を計画してあり
ます。

皆々様の格別の御協力と
事務能力の整備により、益
々給付の改善等、内容を充
実し中部地区電気工事業界
の経営安定の基盤としての
役割を果たすよう御約束
申しあげ新年の賀といたし
ます。

既契約について、保守点検の確実励行！

保守管理業務

契約推進コンクール

◎期間 56年12月～57年2月

保守技術員全員の参加により
契約十万件を達成しよう

全日電工連

創立記念大会ならびに

記念事業の報告

去る10月16日、協力会35周年、工業組合15周年の創立記念大会を、四日市市・千寿会館に於て開催……。

詳細については記念特集号でお知らせしたとおりであります。当日は晴れの大会にふさわしく、快晴に恵まれ、名古屋通商産業局始め三重県当局の他関係団体の来賓、約六十名と受彰代表者、会員など二〇〇余

名が参集、意義ある大会を盛大に挙行……。山本常任理事の司会により開会、会長、顧問あいさつのおと表彰に入り、まず特別表彰として、繁田会長、伊東副会長が、三重県知事表彰を……。角谷副会長、山本常任理事、上村、中西理事の四名が三重県中小企業団体中央会会長表彰をそれぞれ受彰、引つづいて永年勤続優

良従業員三五九名が、会長、理事長表彰を受彰、永年の功績を称えた万場の拍手に受彰者一同感激も新たに、今後ますますの努力発展を誓い表彰を終了。



会長のあいさつ

来賓代表六氏から、これまでの会、組合の発展に対する努力を称え、今後ますます業界の発展を祈念して

四日市チーム入賞！

第17回技能オリンピック

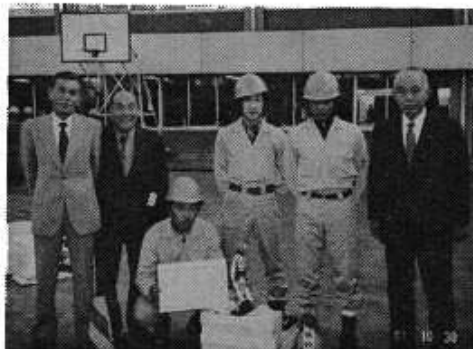
<大会結果>

昭和56年度、第17回技能オリンピック大会は三重県大会を56・10・7、中部連合会大会が、56・10・30、それぞれ開かれた。三重県大会では各支部から選ばれた十チームが出

場、選手を代表して松阪支部奥野敏彦氏から、「日頃鍛えた技をいかに発揮し正々堂々競技する……と宣誓、二時間にわたる実技競技から始まり、完了後工事者として欠かしではならない地主に対する説明報告を兼ねた「接遇面談」競技まで真剣に取り組んだ。

午後は施工事に必要な学科競技の後、安全技能、施工技術、出来栄え、など、総合的な審査が行なわれ、いづれ劣らぬ各支部選出チームのこゝろと審査員も採点に苦勞する程の出来栄え。審査委員長の講評の後結果発表はつぎのとおり。

四日市 林電気チーム



入賞した四日市チーム

続く中部大会まで二十日程の日程をはさみ、四日市、津の両チームは特別日程を作り、両支部の技術担当役員はじめ各役員、対応中電職員一体となった訓練を続け、10・30の中部大会に臨んだ結果、四日市・林電気チームが三位に入

賀会においても、他非常任理事の巧みな司会リードにより会場のふん開気も和気あいあいのうちに進行、予定時間どおり柴田中部電気保安協会理事長の万歳三唱が力強く叫ばれ意義ある大会を無事終了することができた。

なお本大会で市川常任理事から発表された記念事業についてはつぎのとおり、それぞれ実施

賞、津の松田電気工業所チームは惜しくも次点となったが、両チームの出場者および関係者一同、その内容は従来以上の訓練効果が発揮されたものとして、その健闘は大いに称えたい。

①創立記念特集会報の発行

②青年部会の設立

③障害者福祉寄附金の寄贈

大会経費の節減をはかり、ささやかながら寄附金を、三重県当局へ贈り、障害者福祉に役立ててもらおう……と大会当日金一封を寄贈……その後三重県知事から感謝状を授与されました。



会員異動のお知らせ

56年10月以降の会員異動は下記のとおりです。

名簿への追記修成についてよろしくお願ひします。(事務局)

地区別	種別	新旧	コード番号	商号	代表者	住所	電話番号	郵便番号	登録届出申請番号
鳥羽	新加入		33321	ヒロノ電機	廣野正美	鳥羽市大明東町10-23	0599-25-3387	517-01	56-500
四日市	〃		34165	樋口電気工事	樋口勇一	四日市々笹川八丁目35	0593-21-2541	510	54-22
鈴鹿	〃		34763	大勢電気御	八田幸雄	鈴鹿市土師町476	0593-82-1782	513	55-9
亀山	〃		34938	小川電気	小川香苗	鈴鹿市長沢町1149	0593-71-0338	519-03	54-82
上野	承継加入	新旧	31447	アカンヤ電気商会	松本恵	上野市本興町15-77	0595-21-1629	518	56-487 (届出) 53-27
伊勢	〃	新旧	33005	浜田電機店	浜田利尚	伊勢市船江4-10-24	0596-25-2737	516	56-358
〃	〃	新旧	〃	〃	浜田利安	伊勢市河崎3-15-14	0596-23-2340	〃	〃
桑名	〃	新旧	34406	小林電気工業所	小林富子	桑名市菅町40	0594-22-1759	511	56-34
〃	〃	新旧	〃	〃	小林健三	〃	〃	〃	〃
鶴方	退会		33414	鶴方電業社	中西修	志摩郡阿児町鶴方3087-2	05994-3-0427	517-05	56-460
鈴鹿	〃		34703	テン電気商会	勅使河原信一	鈴鹿市東玉垣町2577-45	0593-82-0003	513	56-132
松阪	住所変更	新旧	32148 33127	和手電気工事	和手孝夫	松阪市丹生寺町中里127-25 度会郡玉城町田丸141-13	0598-58-1988 059658-2237	515 519-04	52-107 〃
松阪	住所変更	新旧	32122	東光電気	伊勢野一美	松阪市船江町32-11 松阪市駅前田町271-14	0598-23-7436	515	56-530 51-625
伊勢	代表者変更	新旧	33086	神電工事務	嶋田謙次 西尾又一	伊勢市竹ヶ鼻町100	0596-36-4479	516	(届出) 470004
伊勢	住所変更	新旧	33122	中山電気工事店	中山宏	度会郡小俣町5443-7 5443-3	0596-24-2651	519-05	52-106
鳥羽	住所変更	新旧	33309	徳田電気商会	徳田良平	鳥羽市大明東町14-8 鳥羽市安乗島町2081-40	0599-25-3058	517	56-382
伊勢	代表者変更	新旧	33090	東海電気工事務	岡田孜 吉村庫一	伊勢市黒瀬町間黒648	0596-28-7131	516	(届大臣) 4665
鈴鹿	変更住所	新旧	34746	岡田電気工事	岡田和由	鈴鹿市矢橋3丁目6-12 〃 中舟297	0593-83-0721	513	(届出) 56-4
鈴鹿	住所変更	新旧	34710	川井電気商会	川井竹治	鈴鹿市神戸1丁目14-26 〃 矢田部町663	0593-82-0294	513	(届出) 51-31
鈴鹿	住所変更	新旧	34745	鈴鹿電気工事務	垣内昇	鈴鹿市矢橋3丁目4-12 〃 矢橋町181	0593-82-3241	513	(届出) 460061
鈴鹿	住所変更	新旧	34707	扇立電気務	中西陽太郎	鈴鹿市神戸1丁目16-15 〃 神戸矢田部町532	0593-82-0373	513	(届出) 460058
鈴鹿	住所変更	新旧	34702	(有)三上電機工業社	三上久明	鈴鹿市神戸2丁目17-1 〃 新町440	0593-82-0342	513	56-124
鈴鹿	住所変更	新旧	34714	新興電機工業社	前野憲逸	鈴鹿市神戸8丁目4-8 〃 菅町53	0593-82-0243	513	56-146
鈴鹿	住所変更	新旧	34747	OK電気商会	岡田正	鈴鹿市須賀2丁目17-29 〃 須賀町1760	0593-83-5274	513	56-143

三重県電材卸商組合

(有)日新碍子製作所 南三重ナショナル特機(株) 三重菱電機(株)
 大成電機産業(株) (株)扇港電機商会 三重東芝電設(株)
 四日市名神(株) 三愛電機(株) 国際電気工業(株)

特集

56年度経営セミナー報告

『分科会のまとめ』

前号(二十号)でお知らせしたとおり、中部電気工業事業組合連合会の56年度経営セミナーは56・9・10、日の両日にわたり熱海市で開催され、各県から約七十名が参加、激しい経済情勢を反映して、これからの業界としての進むべき諸問題を討議いたしました。

特に本年度は分科会テーマも重点的に三点にしほり各県の意見討議が活発に行われ、その内容がまとまりましたのでご報告申しあげます。

内容については各地区、各組合員で十分参考とされ今後の活動に反映されるよう特にお願いたします。

第1分科会

「青年部の設置」について

- 主査 長野県 太田副理
- 三重県 角谷副理
- 事務委員 14名(三重・高山)

(1) 青年部設置についての

各県のうごき

愛知―三年程前に青年部を設置し、現在部員数も

四六名程度ではあるがやる気充分、積極的な行動力に富んだ青年が活動を続け、まとまりも非常によく順調に活動をしている。設立当初あった不安要素もなく若い青年の活動機関として設立してよかったというのが現在の実情である。

三重―たまたま今年には工業組合設立15周年、協力

会設立35周年の記念事業として青年部の設置を計画し、発起人19名を以って設立準備を進めている段階である。(注) (別項のとおり12月4日92名の会員をもつて、発足済みである)

岐阜―設立への具体的な動きはないが、今後の課題としての動きは出ている。

長野―工組の事業計画の中

で後継者の育成をどうするかについて研究段階である。

(2) 目的

電気工業業界は極めて厳しい環境の中にあり、新しい時代に対応する考えを持たなければ業界の発展は望めない。

これからの業界を背負っていく若い青年経営者は、大いに勉強をして柔軟な考え方で企業体質の改善を図り、企業経営の確立を期するとともに、優れた指導者の養成にある。

(3) 青年部設置のあり方

イ、青年部設置にあたっては、設置の必要性を全組合員に余す処なく十分な理解の上に計画を進めることが最優先すべき課題である。計画を進めるにあたって、一部の後継者のために青年部を設置し助成まで何故にしなければならぬかと反論が生ずるようでは成功もおぼつかない。

口、設置を急ぐあまり、中途半端な理解のまま、然も

工業組合指導型の全員参加方式ではお仕着せのようになって将来、禍根を残す。

ハ、理解を得た青年後継者の、やる気充分にある積極的な参加による設置が望ましい。

最初は少数参加であって

も意気に燃える青年によって、基礎作りを人念に行ない将来の発展に備えるのがよい。

イ、青年部員の自主運営が青年部運営の基本理念である。

ニ、青年部組織をあたかも工業組合組織の一部門とする形式的な便宜主義に流れではない。

ロ、若い青年後継者相互の連携を保って、時代に適応した企業経営のあり方を勉強するとともに、工業組合の将来の指導者の予備軍としての認識をもった勉強が重要である。

(4) 青年部の運営について

ハ、青年部発展のために工業組合として必要な資料の提供、必要な助言等を惜しんではいならない。

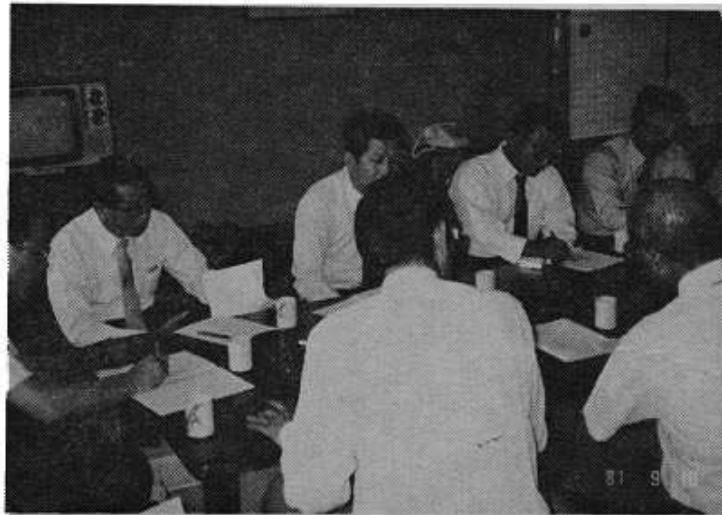
ニ、運営にあたって経済面の弱点を、適切な補助による援助も必要であろうが、あくまでお仕着せにならない配慮が重要である。

ホ、青年部の活動力と意見が工業組合の運営に反映できなければ意味がない。

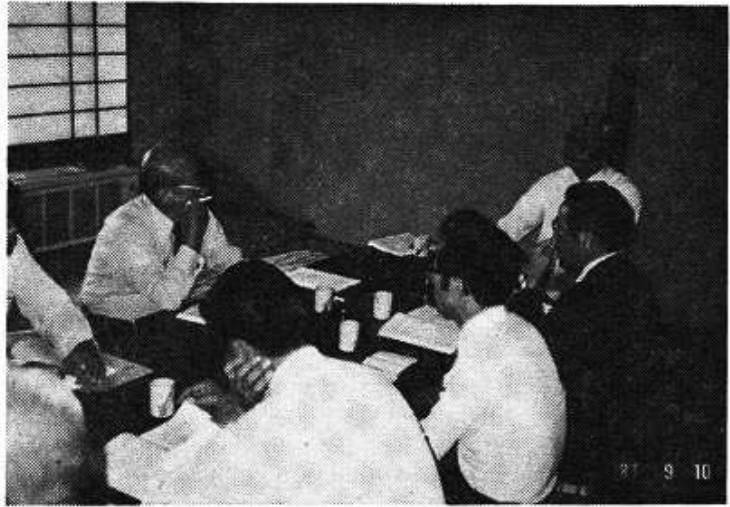
意見が反映される場を充分考えて対応しなければならぬ。

ヘ、工業組合・青年部の両組織は電気工業界の発展への両輪となる運営が行なわれなければ青年部設置の意味もなくなる。

各県の実情を充分に生かした良識ある運営が必要である。



第1分科会



第2分科会

第2分科会
「業法、士法の見直しについて」

主査 岐阜県 安田副理
事務 事務 事務

委員14名(三重・上村技
術委員長)

- ◎ 士法の改正について
- ◎ 工事士免許の更新を5年ごとに講習(義務)を受け、更新を行うよう要望する。
- ◎ 実技試験の方法については現場にそくした(A方式)板作業で行うよう要望する。

- (2) 業法の改正について
 - ◎ 主任工事士の資格については、工事士免許を受けてから実務経験が5年以上の者が学科試験(関連法規)を受けることができ、合格者には通産局長または大臣が資格を認可するよう要望する。
 - ◎ 登録の更新が現在5年になつてゐるのを、建設業法の許可更新と同様に3年毎に更新を行うよう要望し、現情を把握しやすくする。
 - (3) その他
 - ◎ 建築電気設備士法の成立

第3分科会
「業界の位置付けについて」

主査 静岡県 池戸副理
事務 事務 事務

委員 17名(三重・伊東
副理事長、水谷経
済委員長、楠厚生
委員長)

- (1) 先づ最初に与えられたテーマについて分析してみよう。
- 結局、われわれ業界の社会的、産業的地位の向上を図るには、どうしたらよいかということに要約された。
- (2) しかしながら、われわれ業界においては、工業組合員と言えども、その経営規模格差は極端に開いており、同時に論ずることが出来ない状況にあり、問題を次の二つに絞って討議することとした。
- イ、業界に所属する個々の組合員としての社会的、産業的向上策については自力で強力な営業規模を保有する大型店を除外して一般的なものを対象とする。
- ロ、業者全体を含めて地域的、全日本の視野における

- 社会的、産業的向上策
- (3) 前記(2)のイについて各委員の意見を要約すると
- イ、体質が弱いので一般的にPRしたり、政治的に動いたりすることが困難である。
- ロ、関連業種、特に親請業者に弱い。
- ハ、従業員の質が悪い。
- ニ、アウトサイダーが多い
- ホ、電力会社への依存または過大な期待が多い。
- 等々の理由で、非常に困難であるが、一番出来易い方策としては個々の業者が本人はもとより、従業員に服装を整えさせ、態度、イメージを向上させることである。
- できることならば、その業者の特殊性(例えば技術力、サービスマン等)を看板にすればより効果が挙がる。
- その他つぎのような意見があった。
- ◎ 後向き防衛本能から新規開業者を喜ばず、過大な加入金等を徴収したがる傾向が多く、アウトサイダーが益々多くなり、過当競争の防止が困難となり、将来を暗くしている。
- ◎ 新分野の開拓には全く消極的で、特に技術営業力が弱い。
- (4) 前記(2)のロについて各委員の意見を要約すると
- イ 内に向けて努力
- 現在、全日電工連が打ち出しているつぎの諸方針の逐行のため業界自体が努力しなければならぬ。
- ※技術営業力の伸展
- (共同保守管理業務)
- ※青年部を有効に利用して活力を持つこと
- ※業界の組織力を強めること(アウトサイダーの撲滅)
- ※全日サイドにおける事務局の整備強化、および専門職スタッフの採用等に



第3分科会

- よる信頼度の向上
- ※全日レベルにおける互助会、第三者賠償、グループ共済、および退職金共済の整備による信頼度の向上
- ロ 外に向けての努力
- 全日サイドにおける政治力の発揮、各地方を通じて通産、建設両者への働きかけ(関係法令の新設または改正)および、関連諸団体に積極的に働きかけられる実力を養って、指導的立場に立つことである。
- 以上

本部長事会、委員会などのうごき

前号(56・10月発行)は記念特集号など、紙面の都合上、報告を割愛させていただきましたので、6月号以降の主なるうごきを一括報告いたします。

- ◎56・8・25 / 8・26 積算講習会 (四日市会場延94名)
- ◎56・9・2 常任理事会 (七名出席)
- ◎56・9・2 / 9・3 積算講習会 (松阪会場延90名)
- ◎56・9・4 技術委員会(十八名出席)
- ◎56・9・8 総務委員会(八名出席)
- ◎56・9・8 理事会(二十三名出席)
- ◎56・9・10 / 9・11 中部経営セミナー参加
- ◎56・10・1 青年部会発起人会 (十九名出席)
- ◎56・10・7 技能オリンピック、三重県大会の開催
- ◎56・10・7 理事会(二十四名出席)
- ◎56・10・16 創立記念大会の開催
- ◎56・10・19 経済委員会(十三名出席)
- ◎56・10・30 技能オリンピック大会、連合会大会への参加
- ◎56・6・17 厚生委員会(十七名出席)
- ◎56・6・20 経済委員会(十四名出席)
- ◎56・6・26 技術委員会(十四名出席)
- ◎56・7・1 総務委員会(七名出席)
- ◎56・7・2 広報委員会(八名出席)
- ◎56・7・8 経済(委)小委員会 (六名出席)
- ◎56・7・16 理事会(二十四名出席)
- ◎56・7・28 事務局会議 (二十三名出席)
- ◎56・8・1 / 8・30 電気使用安全月間運動
- ◎56・8・19 経済委員会(十四名出席)
- ◎56・8・21 厚生委員会(十五名出席)

- ◎56・11・7 常任理事会 (六名出席)
- ◎56・11・7 青年部会発起人会 (十六名出席)
- ◎56・11・12 理事会 (十九名出席)
- ◎56・11・21 青年部会代表会議 (四名出席)
- ◎56・12・4 青年部会発起人会

◎56・12・4 (十五名出席) 青年部会設立総会の開催

◎56・12・10 事務局研修会 (二十一名出席)

以上のとおり、細部は省略いたしました。各部門において、本年度各種事業の積極的な推進を図るため数多くの行事を展開、(内容についてはすでに各地区で報告されていることと思えます) 活発な組合事業を実施いたしました。

得て56・12・4・津電気会館において設立総会を開催。現程、細則、事業計画案など真剣に審議の結果、満場一致で原案どおり承認可決、同日付で「三重県電気工業業工業組合青年部会」としてスタートした。

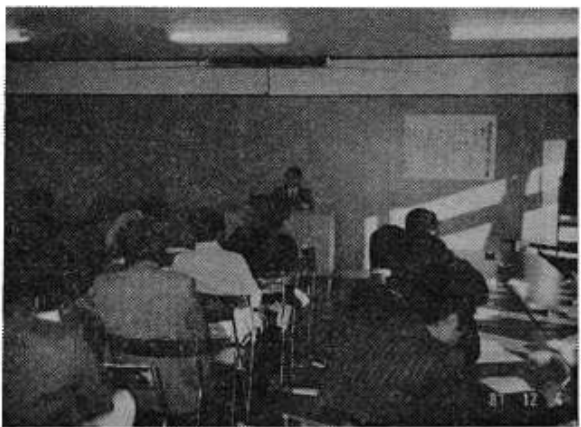
引続いて役員選出に入り今後の事業運営の円滑化と連絡徹底のため各地区から役員が推せんされ別項のとおりそれぞれ就任された。

初年度の56年度は残余期間も少ないが3月末までの事業実施についても早急に具体化しようと役員一同若

- の活躍が大いに期待される
ところであり、組合員全員の暖かいご理解とご協力を
特にお願いたします。
- 青年部会新役員**
- 会長 福田紘一郎(松阪)
 - 副会長 繁田義久(津)
 - 幹事 小林秀男(四日市)
 - 中矢利春(上野)
 - 新田 清(名張)
 - 近藤 剛(松阪)
 - 森井貞彦(大台)
 - 庄司竹文(尾鷲)
 - 尾上 勝(伊勢)
 - 小寺美喜雄(鳥羽)
 - 南 正義(鶴方)
 - 加藤高成(四日市)
 - 三輪和豊(富田)
 - 三輪隆彦(桑名)
 - 田代 誠(員弁)
 - 中西 尚(鈴鹿)
 - 笠井正也(亀山)
 - 飯田秀爾(久居)
 - 西野勇蔵(伊勢)

「青年部会」誕生!

協力会創立35周年、工業組合創立15周年記念事業の一環として「青年部会」の設立について去る56・10・1の第一回発起人会開催以来四回の設立準備会合を重ね、その間各地区から選ばれた発起人十九名を中心に組合役員、事務局職員などが一体となって設立主旨の徹底と理解を求め、若さに燃える



議案審議の青年部会設立総会

さの行動力で張り切っていきます。設立目的、主旨などについても別項の中部経営セミナーで討議された内容は勿論十分理解され、今後



リレー特集

「名所、旧跡を訪ねて」

伊勢地区 牛場 伊平

へお伊勢参らば

朝熊をかけよ

朝熊かけねば

片参宮

と伊勢音頭の一節にも唄いこまれていきます。

伊勢の歴史はあまりにも古く、全国津々浦々まで、みな知られていますが、神宮の神域に続く朝熊山の名勝地についてご紹介し

唄にもあるとおり昔から神宮の参拝をすませた人々は朝熊岳を金剛証寺へと険しい山途を登りつめ参詣したといわれます。(現代では伊勢志摩スカイラインが開かれ、有料道路ではあるが年間三十万台以上のドライパーが利用している) この金剛証寺(勝峰山兜率院金剛証寺)が神宮の鬼門を守る寺として、仏さまが神さまをお守りして

す。 標高五五三メートル、伊勢志摩国立公園では一番高い山で、山頂からは波静かな鳥羽、志摩のリアス式海岸をはじめ、晴れた日には

遠く日本アルプス、富士山の姿を眺めることのできる名勝地でもあります。

この寺院の菩薩は弘法大師自らノミを取り、一本の木から三体を刻まれたといわれる日本三虚空蔵の一つに数えられ、天長二年(八三〇年)大師が道場を開かれ、室町時代には今の金剛証寺が開山したといわれ

る。古くから伊勢の地ではこの朝熊岳を霊場化しており、このあたりの人々は故人の霊が朝熊岳に還るといふ信仰が根づよく残っております。

江戸時代には徳川幕府の手厚い保護を受けるなど境内には歴史的な見所が多くまた貴重な出土品の多いことでも有名であります。

奥の院への小径の両側に林立する卒塔婆(モミの木)の柱に梵字を書き戒名や施主名を記入して、故人の供養のため建て、ぼろぼろに風化してお山の土に還る日まで立てておくという)この地方独特の習しも年間に約一万柱が立てられると

いう、さらに石仏群のさまざまな衣装(亡くなった肉親の顔に似た石仏に生前愛用した衣装を着せ、面影を偲ぶ風習)が目につく。

また変わった地蔵では、「オチンコ地蔵」と呼ばれ古くから子授けにご利益があるとのこと。

境内の「連珠の池」には朱塗りの太鼓橋が色あざやかにかかっています。

この太鼓橋は数珠の型を模写して、橋を境に俗界と聖地を表わしていると言われています。

このような聖地の歴史も



「連珠の池」太鼓橋

時代とともに変わり大正十四年から昭和十七年まではケールを利用し(当時東洋一の施設といわれ珍らしがられた)多くの参詣者を集めたが、さらに現代のレジャー時代となった昭和三十九年十月には今の「伊勢志摩スカイライン」が開通され車窓からは伊勢湾の青さと山の緑、四季折々の花が

楽しめ、空気と景観の素晴らしさは訪れる人々にパノラマの世界をほしほしに展望させる快適なドライブウェイとなっている。

山頂での休憩の一時、ぜひ金剛証寺へも参詣され、古えの霊場を訪ねてみるの如何……。

(次号は松阪支部でお願いたします)

財産づくりは「野村」

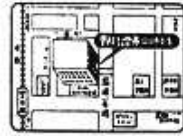


中部電力債をはじめ、国債、割引債、投資信託、株式など財産づくりの情報は「野村」の窓口で…。ベテランの係員がお待ちしております。

野村証券

四日市支店

四日市市東区東町1番11号 (成城町日本郵政(旧支店)) 電話 四日市(0593) 52-2141(代)



いつかは消えます、石油の火。限りあるエネルギー「石油」をいかに有効に活用していかなくてはなりません。いま中部電力は石油火力への依存を減らすため、原子力を中心とした石炭火力の再開発、LNG火力の導入、水力の見直しなど、エネルギー源の多様化をすすめています。

脱石油、その主力は原子力です。



地区だより

四日市



四日市地区では、さる十一月十四日、四日市市営北条グラウンドで伊東電友会会長を始め電気関係者百名を集め第五回四日市地区電気関係者親善ソフトボール大会を開催した。当日は例年になく晴天に恵まれ随所に好プレー、珍プレーが続出。終始和気あいあいの雰囲気の中で熱戦がくりひろげられた。試合は役員、管理職によるエキジビション試

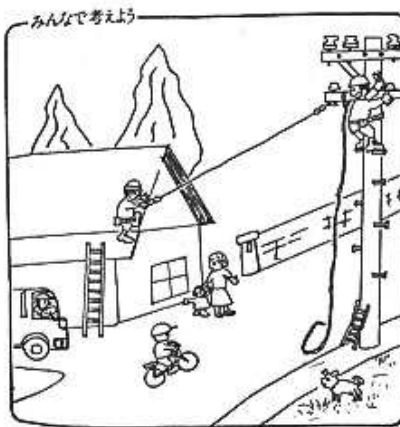
合をはさみトーナメント方式により行われ、中部電力チームと四日市電友会チームが優勝戦に進出した。結果は打撃に勝るわが電友会チームが中部電力チームの投手を続々と打ち崩し優勝の栄冠を勝ちとった。参加者全員が楽しい一日をすごし、四日市地区のより一層の親睦をはかった。成績は次のとおり

四日市電友会	2	保安協会四日市
四日市電友会	9	中電四日市
四日市電友会	13	四日市電友会
四日市電友会	21	東海電気四日市

亀山

危険予知訓練実施!

56年度協力会亀山地区安全推進会議安全管理実施計画による基本方針「危険を予知し、災害を絶滅しよう」



第1ラウンド

(事実→どんな危険がひそんでいるか)

1. 柱が折れるおそれはないか
2. 通い綱は道側でなく家側に下げよ
3. ハシゴはハブ側に掛けた方がよい。
4. 標識を立てよ
5. 監視人がいない。(3名必要)
6. 柱、家屋両取付点に一度に作業しない
7. 家屋側作業者に安全帯がない
8. 取付点側作業者の位置が悪い
9. 柱上の仮足場を取付けよ

を基本目標として、このほど亀山地区の安全教育を行った。イラストシートに画かれた作業の状況のなかに「どんな危険がひそんでいるか」第1ラウンドの話しを行った。(別添図のとおり)

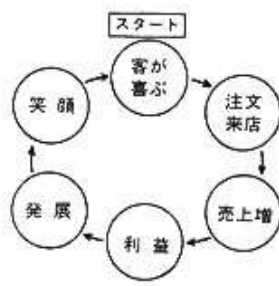
今後第2ラウンド原因↓対策↓行動計画の順に話しを進める事によって危険を予知する能力(安全に対する感受性)を向上させ、ゼロ災害に挑戦する事が出来ると思う。

「商売の原点」

昨年11月26日、三重県中小企業団体中央会主催の、「組合役員講習会」が湯ノ山、希望荘で開催され、参加したが、現在、中小企業の経済情勢が極めて厳しい中で、経営合理化とその対策を中心に、いかに切抜けるか、いかに勝ち抜くかの心構えなど、金融面からみた経済情勢、県商工労働部の施策方針、経営コンサルタントの助言、「経営に生かす禅の心」など、中小企業全体に通用するバラエティーに富んだ内容であり日常心得ているつもりでも心にひびく有意義な講習会であった。

その中の一つ「商売の原点」を強調された、中小企業診断士の小崎徹也講師のお話しをご紹介します。消費支出の減少などによる不況、同業者の激増する現代を如何にして勝ち抜くかは経営者(商売)の最大の課題であることはいままでもない。

この現実を直視して、何か儲けることはないか、もっとよい商売はないかと短絡的に結果のみ追求しがちであるが自分の仕事を「天職」と心得、商売の原点を、今一度見直す必要がある。商売の原点を図式で表現するとつぎのような関連が構成される。



この現実を直視して、何か儲けることはないか、もっとよい商売はないかと短絡的に結果のみ追求しがちであるが自分の仕事を「天職」と心得、商売の原点を、今一度見直す必要がある。商売の原点を図式で表現するとつぎのような関連が構成される。

「客の喜ぶ仕事」(商売)をすることがスタートであり、売上増や利益を考える前に、この原点を忘れてはならない。この出発点の「客が喜ぶ仕事」(商売)をすれば次の注文、来店と客が客を呼ぶことは当然である……。

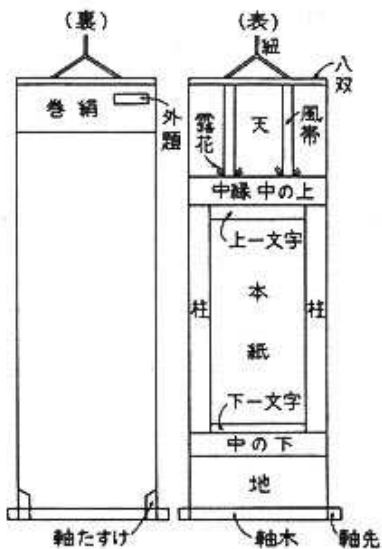
文来店が増えれば売上増となり利益が計上されるのは自然でありその企業の発展に結びつく。企業が発展すれば店主、家族、従業員全員が明るい笑顔で毎日の仕事(商売)の結果が商売の原点のスタートである客が喜ぶ良い仕事(商売)となって現れるというように、歯車の如く循環するものである。永年の経営経験者であるみなさんに対して、何を今さらと思うことばかりであるが、現代のような厳しい経済状況の中で苦しくなる、つい忘れがちとなり、いたずらに儲けばかりにあせり勝ちとなる経営者をよく見かける、このような不況時代こそ肝に銘じて心すべきことであり、商売の原点にたちかえり、先ず客に喜ばれる良い仕事ができる経営管理の確立が必要である……と力説された。(事務局・大矢)

「リレー随筆」 「わたしの趣味」

軸表装について

桑名地区 森 下 幸

年齢と共に故郷回帰の念がひとしおなると同じく日本古来の芸術に趣味も傾倒していきらしい、私が表装に興味をもったのは、掛軸の風帯についてですが、故軸に風帯があるのか、こ



れがそもそもその始まりである。

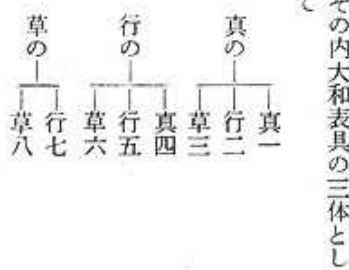
(図参照)

以来興味は尽きず趣味の域に入ってしまったのですがこれらの専門書等をあさっている内になかなか奥の深いものであることが解かってきた。(奥の深いのは盆栽、書画、骨陶、の類でも

の、形式や技術は、はじめ中国から伝ったもので鎌倉時代に中国の禅僧が持ちこんで来たものをまねて作っていた、表具という名前を用いるようになったのは天正の頃からで、それ以前は画の表具を掛絵、書の表具を掛字といっていた、まだ床の間がない時代ですから

の間が普及したのは室町時代で桃山時代に表具は目醒しく発展し、また茶の湯の流行によって「佗」の美が考えられ、「大和表具」の出現を見るに到った。

以上が沿革であるが次に表具の様式を大別すると、



- 一、我が国独自の (大和表具)
 - 本袋表具
 - 丸本袋表具
 - 明朝仕立表具
 - 明朝朝表具
 - 真II裱指 (ひようえ)
 - 行II輪補 (どうぼう)
 - 草II輪補 (りんぼう)
- 一、中国より伝へられた (文人表具)
 - 壁や障子に掛けていた。床

の間の普及したのは室町時代で桃山時代に表具は目醒しく発展し、また茶の湯の流行によって「佗」の美が考えられ、「大和表具」の出現を見るに到った。

鈴鹿地区だより

建設業界の不況に依り、年々工事数が減少しつつあるなか、私達業界もそれに附随して工事数は益々減りさらには下請業者、非組合員にどんどんと喰い込まれ、荒されています。まさに毎日が戦いであり、戦場と化した焼野ヶ原に残された一つかみの灰を頼りに、一人たらずむ組合員が何人いるだろうか、また何業者いるだろうかと思ふと平然としていられない。打つべき手を考えなければいけない。それも他人の力に頼らず自力で奮起し全員で分離発注等に全力をあげていかなければいけないと思ふ。

尚先に述べた風帯ですが種類は多く有りますがその名称の起りには中国でむかし燕のために両面が汚されたことがあり、それを防ぐため燕は紙がゆれるのを恐れ近寄らないために付けたのだといわれています。中国ではこの風帯を「驚燕」とも「私燕」ともいいますからそのいわれがわかります。

このことが解かったのも私の趣味として一つの収穫でした。(次号は津支部でお願します)

それと共に一番大事な事は工事単価の競争をしてはなんの意味もないと言う事である。負けてはならない非組合員に。保証と責任ある工事、また御客様から安心してまかせてもらえる正組合員だと言う事をしていただくために今回鈴鹿市全域にわたり、経費もいりましてが別紙の新冊折込ちらしを入れました、結果いんな方面から、かなりの反響を呼び一応成功しましたので、また本年早々に第二弾を企画しています。今度は組合を窓口にしたPRを主体にしたいと思っています。(出口昭憲)

電気は正しく 安全に!

電気工事は登録(届出)標識のある工事店で。

正組合員は登記のマークを手に持っています

鈴鹿電気工事業者同組合

No.	氏名	住所	TEL
1	鈴木 一郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-1111
2	田中 健二	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-2222
3	山田 三郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-3333
4	佐藤 四郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-4444
5	高橋 五郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-5555
6	斎藤 六郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-6666
7	渡辺 七郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-7777
8	森田 八郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-8888
9	岡田 九郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-9999
10	伊藤 十郎	鈴鹿市 〇〇〇	059-222-0000

〈編集後記〉

会員の皆さんにはご健勝のうち、新春を迎えられ先づもってお慶びを申し上げます。昨秋には創立記念号と二〇号を併せ発行したため新年号は例の如く寄稿が少く編集に若干の苦勞があらうかと危惧していましたが新春の挨拶は勿論、私の趣味、歴史の散歩など、新春にふさわしい、内容の充実した立派な新年号の発行をみる事が出来ました、担当者として寄稿者各位に衷心よりお礼申し上げます。

さて各位の年頭の挨拶にもあるように昨年同様、いやそれ以上厳しい年の様である世界的な不況故、止むを得ないと割り切りそれぞれ自己防衛策を考えねばならない時であろう。国や地方の企業体も、その合理化の一端として人員削減の為、組合側と話し合いを進めている。我々零細企業といえども従業員を淘汰する必要に迫られているのが実情である。店主といえども机の前でデンとあぐらをかいている時代は過ぎた。山本五十六元帥の遺訓に「ヤツテミセテ、イッテキカセテ、サセテミテ、ホメテヤラネバ人は動カジ」とある。本年はこの言葉を座右の銘として試練の年を乗り切りたいと考えています。

(時田 生)

線 結 誤

シマッタでは

済まぬ

プロの恥

TVレベルチェッカー ●TV電界強度測定器

TVレベルチェッカー

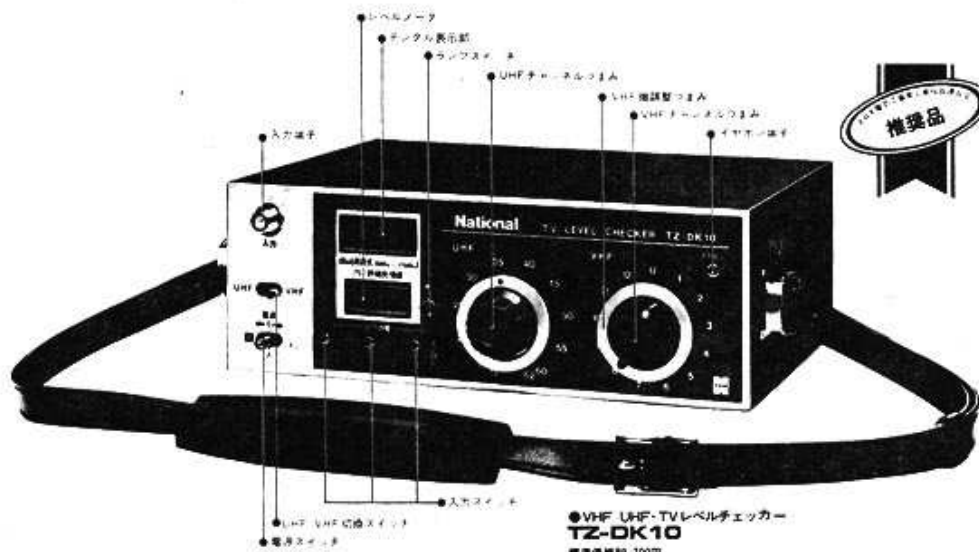
- 直読式デジタルメータを採用、わずらわしい計算が不要、誤読がなく測定が簡単、確実です。
- 「75Ω終端先頭値」指示、測定レベルの変動が少なからぬこまかなレベル測定ができます。
- レベルメータを活用して微妙なアンテナ方向の調整もできる多目的型です。
- 携帯に便利な乾電池式で、どこでも使用できます(携帯バッグ付属)。
- 入力端子はUHF・VHF共通、75ΩF型コネクタを採用。
- 映像搬送波をバズ音でモニターできるイヤホン端子付。
- UHFは音声搬送波も測定できます。
- バッテリーチェックで電池電圧を確認できます。
- 暗い場所での測定に便利なランプ付。
- 差込み式F型接続を付属、接続の手間が大幅にはぶけます。

用 途

1. アンテナの出力レベル測定。
2. アンテナの位置(方向・高さ)測定。
3. 反射波の到来方向測定。
4. 増幅器の入力・出力レベルや利得の測定。
5. 各種受信機・共聴機・ケーブル等の損失測定
6. 共聴システムの端子レベル測定。
7. 共聴システムの保守・点検。



松下電器産業株式会社
中部設備機器営業所 三重出張所
四日市市深野町四番五号(住友生命四日市ビル)
TEL 〇五九三一五一一〇五六三



●VHF・UHF・TVレベルチェッカー
TZ-DK10
標準価格 700円